



広報

三島まつり

町のすがた

(11月1日現在)

人口	男 3,451人	(+6)
	女 3,730人	(+2)
世帯数	計 7,181人	(+4)
	1,862	(-1)

()は10月1日との比較



第332号

平成7年11月22日
発行 新潟県三島郡三島町役場
☎ (0258) 42-2221
印刷 長岡市あかつき印刷

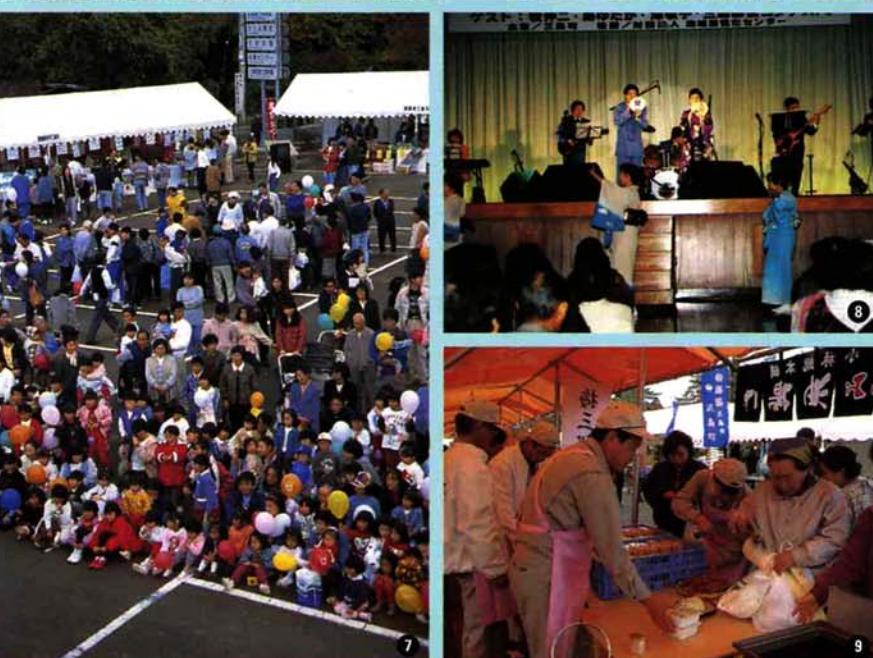
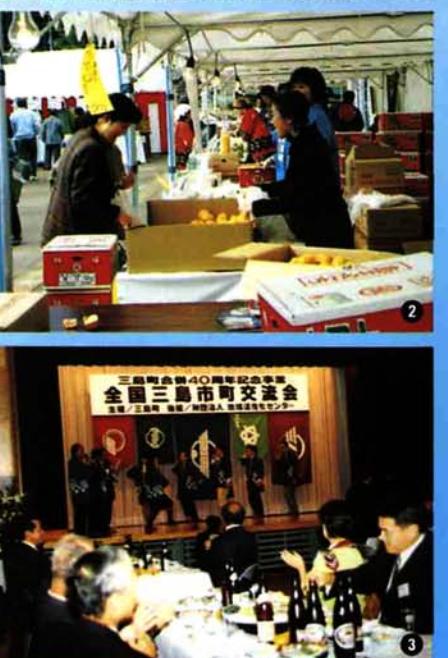


三島史上最大規模の人出 ふれあいフェスタ95

合併40周年記念事業のメインイベント「ふれあいフェスタ95」が、11月3日から5日の3日間にわたり、大々的に行われました。

3日10時の郷土資料館テープカットを皮切りに、記念式典、4日午後から評論家草柳大蔵氏の講演会、全国三島市町交流会が行われました。

最終日の5日は、前日までのぐずついた天候が一転、汗ばむような秋晴れとなった中、メイン会場の役場駐車場で全国三島市町フェアや産業まつり、健康歎び一展、恒例の町民駅伝大会、フェスタを締めくくる歌謡バラエティショーまで多彩な催しが行われ、町内外からこれまでにないほどの人々が訪れました。



- ①大みこしの勇猛なもみで、会場は興奮のるっぽい
- ②5つの「みしま」が特産・名産品を即売。全国三島市町フェア
- ③全国三島市町交流会では、静岡県三島市のみなさんが、出し物を披露
- ④テレビでお馴染みセーラームーンの登場に、子どもたちの目は釘付け
- ⑤空から見る景色はいかが。ちょっぴり怖くもあったヘリコプター体験飛行
- ⑥牧場にやってきた気分、ふれあい農園
- ⑦とにかく人、ひと、ヒト。会場には多くの人が訪れました。
- ⑧フェスタのフィナーレはもちろん「三島音頭」
- ⑨栃尾市や山古志村など近隣市町村の特産品販売もありました
- ⑩迫力。めりはりのきいた火焰太鼓の音が響く
- ⑪親子連れに人気の「お猿の電車」
- ⑫会場を笑いの渦に巻き込んだ牧伸二さん



町村合併で三島町が生まれてから40年目。この年を祝い新たなまちづくりの節目とするため、11月3日、記念式典が行われました。

式典には、町特別功労者をはじめ町議会議員や町内の各種委員、大字区長など、約100人が出席しました。

河内町長は式辞の中で、「合併以来、町民各位の並々ならぬご苦労ご尽力で、三島町は順調な発展を遂げております。合

併40周年を契機に、過去の歩みを顧みるのみでなく、来たるべき21世紀に向かって、町民の皆

様の積極的な行政参加によって、真の住民自治の確立に努力して参ります」と、今後の町づくりの決意を述べました。

また、式典の中で、町の発展に貢献された功労者の表彰が行われ、前町長遠藤築門氏（吉崎）と前議會議長小林太左衛門氏（上岩井）が表彰されました。



3日間で、どつと1,700人が来館

郷土資料館がオープン

今春より、みしま中央会館2階で内部整備工事を進めていた「郷土資料館」が完成し、11月3日開館しました。

ふれあいフェスタ95の皮切りとして、開館当日10時にテープカットが行われ、フェスタ期間中（3～5日）約1,700人の来館者を記録しました。

町内はもとより長岡市や与板

町、遠くは埼玉県や北海道の人も訪れ、館内7つのゾーンそれぞれに見入っていました。

郷土資料館は「木と道具と匠たち」をテーマとし、町の文化遺産や歴史、鋸産業などが楽しく、分かりやすく理解できる施設で、今後特別展示なども予定しています。

教養文化の向上だけでなく、観光入込客数の増加にもつながる「三島町の見所」として期待されます。

郷土資料館特別展

24年振り 千石原火焰型土器 三島町に里帰り

昭和46年に、当町の大字吉崎字千石原より出土した火焰型土器（長岡市立科学博物館所蔵）を、開館まもない郷土資料館「歴史ゾーン」に12月の1か月間特別展示します。

本物を是非ともこの機会にご覧ください。

— 火焰型土器特別展示期間 —

12月2日(土)～26日(火) 午前9時から午後5時まで。
(ただし、毎週月曜日は休館)

※入館料は平常と同額（大人300円、子ども150円）



新たなまちづくりに向けて 合併40周年記念式典

合併40周年記念事業
町民憲章が制定される

今回の式典の中で、町民憲章の草案が発表され、承認されました。

町民憲章につきましては、その案文を募集したところ、町内から11件の応募がありました。

町では、有識者8名による町民憲章制定委員会を組織し、寄せられた案文ひとつひとつについて検討、慎重に審議し、草案を

作成しました。

町民憲章は、前文に続き、5つの条文にまとめられました。

最初の「緑豊かな」の条は、自然を慈しむ気持ちを表し、次の「歴史と伝統」の条は、教育文化の創造性を、「助け合い」の条は、福祉の町を、「心と体」の条は町民の健康への努力を、そして、最後の「輝かしい」の条は、21世紀に向かって三島町の限りない発展を誓うことを意図したものです。

町村合併で三島町が生まれてから40年目。この年を祝い新たなまちづくりの節目とするため、11月3日、記念式典が行われました。

式典には、町特別功労者をはじめ町議会議員や町内の各種委員、大字区長など、約100人が出席しました。

河内町長は式辞の中で、「合併以来、町民各位の並々ならぬご苦労ご尽力で、三島町は順調な発展を遂げております。合

併40周年を契機に、過去の歩みを顧みるのみでなく、来たるべき21世紀に向かって、町民の皆様の積極的な行政参加によって、真の住民自治の確立に努力して参ります」と、今後の町づくりの決意を述べました。

また、式典の中で、町の発展に貢献された功労者の表彰が行われ、前町長遠藤築門氏（吉崎）と前議會議長小林太左衛門氏（上岩井）が表彰されました。

併40周年を契機に、過去の歩みを顧みるのみでなく、来たるべき21世紀に向かって、町民の皆様の積極的な行政参加によって、真の住民自治の確立に努力して参ります」と、今後の町づくりの決意を述べました。

また、式典の中で、町の発展に貢献された功労

恒例の産業まつりは、合併40周年記念事業「ふれあいフェス

タ'95」との同時開催となりました。

農協や商工会による農林産物、

町物産の即売や特売、森林組合による木工教室やウッドネーム

クイズ、菊花展や手巻き寿司コンテストなど、会場の役場駐車場では各団体が多彩な催しを行ない、大勢の人が秋の一日を満喫していました。

▼優良賞 遠藤ハマ（上岩井）、斎藤吉一（七日市）、片桐レイ子（新保）、中川キクエ（脇野町）、中村フミイ（鳥越）、佐藤アキ（上岩井）、西原トミ（気比宮）、倉重ノブ（瓜生）、中川キミ（脇野町）、元井ミユ（上

岩井）、米持傳夫（新保）、片桐大（新保）、佐藤澄子（上岩井）、小熊哲治（気比宮）、田中利英（上条）、

アキ（上岩井）、西原トミ（気比宮）、倉重ノブ（瓜生）、中川

キミ（脇野町）、元井ミユ（上

岩井）、米持傳夫（新保）、片桐大（新保）、佐藤澄子（上岩井）、

小熊哲治（気比宮）、田中利英（上条）、

同日開催された日赤奉仕団主催の「チャリティーバーゲン」及び福祉作業所「あゆみの舎」の物品販売につきまして、大勢のみなさんからご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

善意に感謝
チャリティーバーゲン
あゆみの舎

同日開催された日赤奉仕団主催の「チャリティーバーゲン」及び福祉作業所「あゆみの舎」の物品販売につきまして、大勢のみなさんからご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。



「健康歯ツッピーエン」で 歯の健康づくり

乳幼児からお年寄りまで、全
年齢層に歯科保健を進めるため、
今年も「健康歯ツッピーエン」が行
われました。

自分の口の中の歯垢や歯石を

顕微鏡で観察するコーナーには
たくさんの人達が集まり、関心
の高さをうかがわせていました。

「歯のクイズコーナー」や、
「かみごたえのある試食コーナー」

にも大勢の方々が訪れたほか、

70歳代で21本以上の歯が
残っていた人

60歳代で22本以上の歯が
残っていた人

50歳代で22本以上の歯が
残っていた人

40歳代で22本以上の歯が
残っていた人

30歳以上で健康的な人

正しく歯みがき法の指導を受け
る親子連れなど、楽しく歯の健
康チェックをした秋の一日とな
りました。

（宮沢）小熊勝の皆さん。

（鳥越）山内ヨシ・中村正夫・
小熊クニ（七日市）中村八太郎・
（上岩井）片野トミ・（吉崎）
青木健太郎・小池通子・東ハル
圭子・（下河根川）片沼タマ・
エ・東長一・稻川喜美江（脇野
町）青柳恵子・石黒和衛・桃沢
圭子・（下河根川）片沼タマ・
（瓜生）近藤岩雄・片桐武一・
（氣比宮）八田栄五郎・西原武
志・（蓮花寺）小川昭一・難波

河内さん・帆刈さん
高齢者よい歯コンクール
ルで知事表彰

歯科衛生に気をつけ、80歳以
上で20本以上の健康な歯が残っ
ているとして、歯ツッピーエンで認
証された、脇野町の河内武志智
さんと、鳥越の帆刈イツさんが
県知事表彰を受けました。

表彰が行われた新潟県歯科保
健大会（9日・長岡市）では、
よい歯の学校代表として、三島
中学校の久住華奈子さんが体験
発表したほか、先進事例として、
三島町の歯科保健の取り組みが

登・（新潟市）丸山スマエのみ
なさん。
（30歳以上で健康的な人
（歯ぐき健康・歯石なし・処
置歯5本以下）
（親子よい歯
（親子歯5本以下。子供＝
むし歯なし）
（鳥越）鈴木俊明・菜摘（吉崎）
小熊賢吾・瑞穂・清水貴子・和
宏・美里・川崎雅俊・まい、
（藤川）中川輝美・瑞輝、（六
日町）藤沢隆子・つかさのみな
さん

登・（新潟市）丸山スマエのみ
なさん。
（30歳以上で健康的な人
（歯ぐき健康・歯石なし・処
置歯5本以下）
（親子よい歯
（親子歯5本以下。子供＝
むし歯なし）
（鳥越）鈴木俊明・菜摘（吉崎）
小熊賢吾・瑞穂・清水貴子・和
宏・美里・川崎雅俊・まい、
（藤川）中川輝美・瑞輝、（六
日町）藤沢隆子・つかさのみな
さん

登・（新潟市）丸山スマエのみ
なさん。
（30歳以上で健康的な人
（歯ぐき健康・歯石なし・処
置歯5本以下）
（親子よい歯
（親子歯5本以下。子供＝
むし歯なし）
（鳥越）鈴木俊明・菜摘（吉崎）
小熊賢吾・瑞穂・清水貴子・和
宏・美里・川崎雅俊・まい、
（藤川）中川輝美・瑞輝、（六
日町）藤沢隆子・つかさのみな
さん

登・（新潟市）丸山スマエのみ
なさん。
（30歳以上で健康的な人
（歯ぐき健康・歯石なし・処
置歯5本以下）
（親子よい歯
（親子歯5本以下。子供＝
むし歯なし）
（鳥越）鈴木俊明・菜摘（吉崎）
小熊賢吾・瑞穂・清水貴子・和
宏・美里・川崎雅俊・まい、
（藤川）中川輝美・瑞輝、（六
日町）藤沢隆子・つかさのみな
さん

登・（新潟市）丸山スマエのみ
なさん。
（30歳以上で健康的な人
（歯ぐき健康・歯石なし・処
置歯5本以下）
（親子よい歯
（親子歯5本以下。子供＝
むし歯なし）
（鳥越）鈴木俊明・菜摘（吉崎）
小熊賢吾・瑞穂・清水貴子・和
宏・美里・川崎雅俊・まい、
（藤川）中川輝美・瑞輝、（六
日町）藤沢隆子・つかさのみな
さん

登・（新潟市）丸山スマエのみ
なさん。
（30歳以上で健康的な人
（歯ぐき健康・歯石なし・処
置歯5本以下）
（親子よい歯
（親子歯5本以下。子供＝
むし歯なし）
（鳥越）鈴木俊明・菜摘（吉崎）
小熊賢吾・瑞穂・清水貴子・和
宏・美里・川崎雅俊・まい、
（藤川）中川輝美・瑞輝、（六
日町）藤沢隆子・つかさのみな
さん

<

平成7年度 上半期 財政状況公表 一般会計

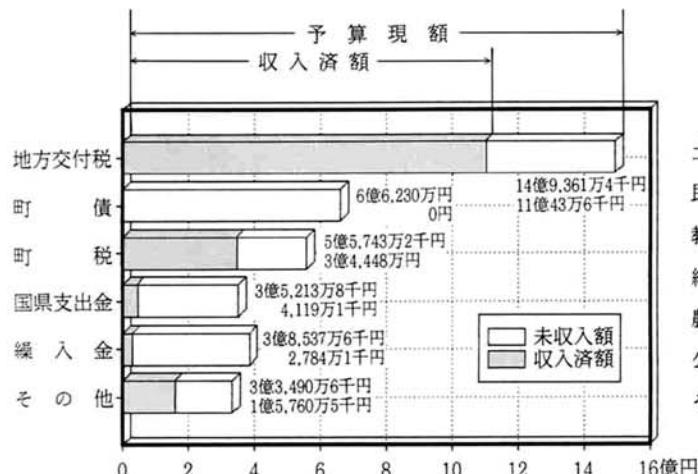
平成7年度上半期分（平成7年9月末現在）における予算の執行状況をお知らせします。

一般会計は当初予算から5回の補正を行い、9月末現在の予算額は、36億6千703万7千円（当初予算比6.3%増）となっております。主な補正内容は、7月、8月の大雪による災害復旧事業で約1億400万円、保育所増築工事等で約2千万円、合併40周年記念事業で約1千2百万円の増額補正をしております。

特に、災害復旧事業に要する経費は、総額で10億円以上となる見込みで、近年にない大被害となっております。

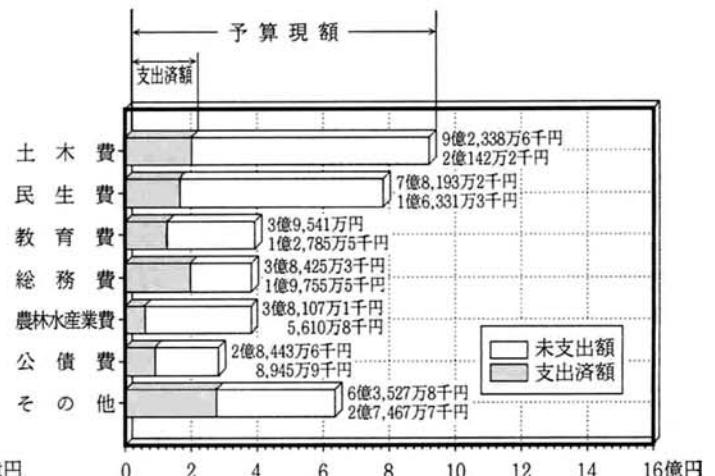
歳入

予算現額 37億8,576万6千円（繰越明許費含む）
収入済額 16億7,155万3千円（収入割合44.2%）



歳出

予算現額 37億8,576万6千円（繰越明許費含む）
支出済額 11億1,038万9千円（支出割合29.3%）



（参考）町民一人当たり・1世帯当たり額

項目	町税納入額	一般会計支出額
1人当たり額	47,944円	154,543円
1世帯当たり額	184,906円	596,022円

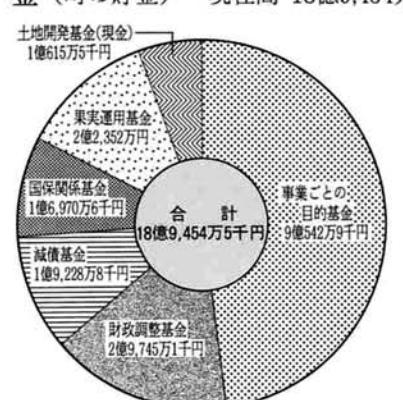
特別会計 (単位：千円・%)

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
国民健康保険	337,371	138,313	41.0	113,019	33.5
老人保健	704,840	306,962	43.6	294,963	41.8
下水道事業	832,084	132,241	15.9	145,496	17.5

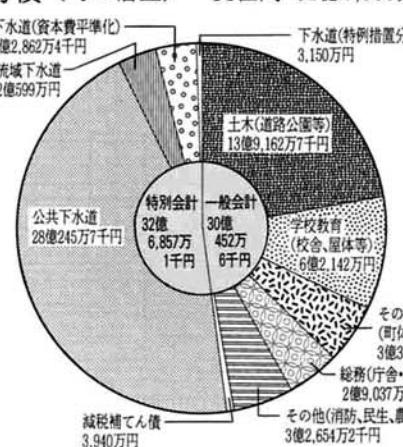
（注）下水道事業会計は基金の流用があります



基 金（町の貯金） 現在高 18億9,454万5千円



地方債（町の借金） 現在高 62億7,309万7千円



町内各地で選手への熱い声援が寄せられました。上条（写真上）と藤川（写真右）



さわやかな汗

第24回 町民駅伝大会

大字選抜15チームが参加し、町内一周11区間、約27キロメートルを、大字の精銳ランナーが力走。第6、7区間（上条）と第6、7区間（逆谷）上条、3・6ロードマーテルでは、小学生ランナーが懸命の走りを見せ、沿道から盛んな声援を浴びていました。

町民駅伝大会が5日、盛大に開催されました。

開会式で、平成7年度町長賞（スポーツ振興優良地区）受賞しました。

★平成7年度町長賞（スポーツ振興優良地区）受賞しました。

★優秀競技者賞（敬称略）受賞しました。

●大会成績

○特 奖	●区間賞（敬称略）	○大会成績
稻垣 明（鳥越A）	優勝 鳥越A	1位 稲垣明（鳥越A）
	2位 脇野町A	2位 脇野町A
	3位 藤宮A	3位 藤宮A
	4位 上岩井	4位 上岩井
	5位 蓮花寺	5位 蓮花寺
	6位 上 条	6位 上 条
		7位 山田 满（上岩井）
		8位 片桐孝信（脇野町A）
		9位 青柳茂喜（新保A）
		10位 石田健夫（脇野町A）
		11位 高埜 茂（藤宮A）
		12位 西 和也（新保A）
		13位 柳 吉俊（鳥越A）
		14位 玉井良平（鳥越A）
		15位 青柳茂喜（鳥越A）
		16位 片桐孝信（脇野町A）
		17位 石田健夫（脇野町A）
		18位 高埜 茂（藤宮A）
		19位 西 和也（新保A）
		20位 柳 吉俊（鳥越A）
		21位 玉井良平（鳥越A）
		22位 青柳茂喜（鳥越A）
		23位 片桐孝信（脇野町A）
		24位 石田健夫（脇野町A）
		25位 高埜 茂（藤宮A）
		26位 西 和也（新保A）
		27位 柳 吉俊（鳥越A）
		28位 玉井良平（鳥越A）
		29位 青柳茂喜（鳥越A）
		30位 片桐孝信（脇野町A）
		31位 石田健夫（脇野町A）
		32位 高埜 茂（藤宮A）
		33位 西 和也（新保A）
		34位 柳 吉俊（鳥越A）
		35位 玉井良平（鳥越A）
		36位 青柳茂喜（鳥越A）
		37位 片桐孝信（脇野町A）
		38位 石田健夫（脇野町A）
		39位 高埜 茂（藤宮A）
		40位 西 和也（新保A）
		41位 柳 吉俊（鳥越A）
		42位 玉井良平（鳥越A）
		43位 青柳茂喜（鳥越A）
		44位 片桐孝信（脇野町A）
		45位 石田健夫（脇野町A）
		46位 高埜 茂（藤宮A）
		47位 西 和也（新保A）
		48位 柳 吉俊（鳥越A）
		49位 玉井良平（鳥越A）
		50位 青柳茂喜（鳥越A）
		51位 片桐孝信（脇野町A）
		52位 石田健夫（脇野町A）
		53位 高埜 茂（藤宮A）
		54位 西 和也（新保A）
		55位 柳 吉俊（鳥越A）
		56位 玉井良平（鳥越A）
		57位 青柳茂喜（鳥越A）
		58位 片桐孝信（脇野町A）
		59位 石田健夫（脇野町A）
		60位 高埜 茂（藤宮A）
		61位 西 和也（新保A）
		62位 柳 吉俊（鳥越A）
		63位 玉井良平（鳥越A）
		64位 青柳茂喜（鳥越A）
		65位 片桐孝信（脇野町A）
		66位 石田健夫（脇野町A）
		67位 高埜 茂（藤宮A）
		68位 西 和也（新保A）
		69位 柳 吉俊（鳥越A）
		70位 玉井良平（鳥越A）
		71位 青柳茂喜（鳥越A）
		72位 片桐孝信（脇野町A）
		73位 石田健夫（脇野町A）
		74位 高埜 茂（藤宮A）
		75位 西 和也（新保A）
		76位 柳 吉俊（鳥越A）
		77位 玉井良平（鳥越A）
		78位 青柳茂喜（鳥越A）
		79位 片桐孝信（脇野町A）
		80位 石田健夫（脇野町A）
		81位 高埜 茂（藤宮A）
		82位 西 和也（新保A）
		83位 柳 吉俊（鳥越A）
		84位 玉井良平（鳥越A）
		85位 青柳茂喜（鳥越A）
		86位 片桐孝信（脇野町A）
		87位 石田健夫（脇野町A）
		88位 高埜 茂（藤宮A）
		89位 西 和也（新保A）
		90位 柳 吉俊（鳥越A）
		91位 玉井良平（鳥越A）
		92位 青柳茂喜（鳥越A）
		93位 片桐孝信（脇野町A）
		94位 石田健夫（脇野町A）
		95位 高埜 茂（藤宮A）
		96位 西 和也（新保A）
		97位 柳 吉俊（鳥越A）
		98位 玉井良平（鳥越A）
		99位 青柳茂喜（鳥越A）
		100位 片桐孝信（脇野町A）
		101位 石田健夫（脇野町A）
		102位 高埜 茂（藤宮A）
		103位 西 和也（新保A）
		104位 柳 吉俊（鳥越A）
		105位 玉井良平（鳥越A）
		106位 青柳茂喜（鳥越A）
		107位 片桐孝信（脇野町A）
		108位 石田健夫（脇野町A）
		109位 高埜 茂（藤宮A）
		110位 西 和也（新保A）
		111位 柳 吉俊（鳥越A）
		112位 玉井良平（鳥越A）
		113位 青柳茂喜（鳥越A）
		114位 片桐孝信（脇野町A）
		115位 石田健夫（脇野町A）

21世紀のまちづくり

合併四十周年記念講演として評論家草柳大蔵さんの講演会が行われました。今月号では、その講演の骨子をご紹介します。



1

「あまねく等しく」から
「あまねく人らしく」に
変わったまちづくり

私は「三島」という地にはいささか縁がありますが、実は私ども熱海の人間は、三島市から水を分けていただいています。その水は柿田川という川から取水します。これが富士山の伏流水で、富士山に降り積もった雪が春になって溶けて地下に入り、地下を八十年間流れ伏流水になり、三島市でボコッと顔を出し、二キロメートルほど流れまた地下に潜って伏流水になります。その柿田川の水を熱海市が三島市から分けていただいているんです。私は四十年近く東京に住んでいましたが、熱海に移り住んで最初に感じたことは「水の軽さ」です。お風呂で頭から水を浴びると、まあ本当に水が軽いんです。もちろんお茶にいれてもおいしいんです。

私の知人に東京芸大教授の絹谷さんという

方がおります。絵描きさんは一日中絵を書いているのですから運動不足になります。絹谷さんは世田谷の自宅の庭にプールを作りました。そうしたら、三日目に雨が降ったというのです。四日目にプールに入ろうとしたらプールの水が真っ黒。水を落としてみたらタイルの目地にタールがびつたりと張り付いてしまって、落ちないというのです。驚きましたね。

東京に三菱マテリアルという会社がありまして、この会社が、手持ちぶたさから手持ちのシャワーの中に入れるカセットを開発しました。それを東京や名古屋、大阪など人口の過密な所でテストしたんです。一週間使用してそのカセットを取り出すと、真っ黒になつていました。水道の水の中のカルキとか、いろんな金属物質がカセットに吸収されているんです。

私は絹谷さんの話を聞き、三菱マテリアルのカセットを見て、熱海に移り住んで良かつたなあとしみじみと思うのです。「水の良さ」ですね。

「まちづくり」とか「地域おこし」とかが話題になるようになったのは、ここ十年くらいなんですね。日本の地方行政の基本的的理念は

「あまねく、等しく」という思想でした。全国の市町村にデコボコがあつてはいけない、不公平があつてはいけないと、補助金を出したり平衡交付金を出したりして、シビルミニマム（最低限の市民生活を支えるもの）は大体同じでなければならぬとしたんです。それで、地方行政の財政計画、事業計画が行われてきました。

大体それが終わると、今度は住民の方からいろいろな要求が出てきた、「運動公園を造ってくれ」「美術館を造ってくれ」あそこの町がやつたらこの町がやる、「あまねく等しく」という思想が浸透し、何かよその市町村より遅れているところはないか、と地域住民が捜し、それが住民要求として出てくるようになりました。

住宅、道路、下水道がだんだん整備されてきた、完全ではないにしろ外國に比べればすばらしいレベルになりました。その上に運動公園とか歴史民俗博物館とか、スポーツ・文化施設とかが乗ってきました。その次に出てきたのが、おじいちゃん、おばあちゃんの世話を、養護センターです。しかし、養護センターを造ったとしても、介護してくれる人がいなければいけませんから、そのトレーニングセンターをまた造らなければなりません。これは、学校や図書館や病院や道路を造るのは違います。同じ町に住み暮らしてきたおじいちゃん、おばあちゃんが惨めな思いで暮らさないよう、みんなでしてあげなくてはいけません。「あそこの町で年を取つたら惨めだぞ」という声がでたら、恥ずかしいことです。や

りきれないことです。その辺から、つまり人間そのものにどういうふうに生きがいを与えていくかというところから、「あまねく等しく」からテーマが変わってきました。シビルミニマム、建物を建てる、が「あまねく等しく」だったのが「あまねく人『ら』しく」と、「ら」という言葉に入る、二十一世紀のまちづくりというのは、そこに住んでいる人が「ここに住んでよかった」と思うこと、それが目標になりました。

2 「愚痴」「けち」「無知」「やきもち」を押さえることが大切

「あまねく人らしく」が目標になつてくると、もう一回、行政が先に走らなければなりません。役所というのは「人」と「情報」と「金」があります。人については「老」「壯」「青」が一緒に仕事をしているのが役所、これは非常に大切なことなんです。また補助金が平衡交付金にだんだん組み入れられて、役所が自由に使える一般財源が増えてきました。お金もできるようになって、お金の幅が非常に広がってきた。役所の職員をいろいろな所に研修に出し、情報が得られる、役所という人は人、お金、情報が集約されているところで、これがまた中心舞台になります。

最初は役所が動いた、なぜ動いたかというと、中央政府と直結しているから。那次、役所が第一期にやつた仕事が終わつたところで、住民要求というものが出てきたら、それが

役所の仕事になった、そして三番目に「あまねく人らしく」という、人間を大切にそこに住んでいることに生きがいを感じてもらうにはどういうシステムや装置が必要か、それが出来るのは、また行政なんです。

「あまねく人らしく」という考え方が浸透してきて、全国の市町村に格差が生まれました。すばらしく生き生きしている所と気の毒なくらいダメなところとびっくりします。

例えば長崎県の外海町というところは、断崖絶壁に町が乗っているような小さな町なんですが、その町に隠れキリストンの資料館があります。本当の隠れキリストンというのは、今日のように宗教が自由になつても、自らキリストンといわぬものです。それで、その町の「そうめん」が非常においしんです。なぜかというと明治三年にフランス人のドロという神父さんがやってきて、村民と一緒にそろめんを食べたら「こんなものを食べたら胃潰瘍になる、菜種油でなく落花生油で粉を練りなさい」と住民に教えたんです。今、日本全国の中でもここだけが落花生油のそうめんを作っています。

そのそうめんを町の人たちが食べてて、戦後になつて、まちおこしで何をしようかといふことになりました。「こんな九州の外れに大勢の人が来てくれるはずがない。それよりもドロ神父に感謝し、フランスにお礼に行こう」と考え、町立のフランス語学校を作りました。フランス語を学び、そしてドロ神父の生まれ故郷にお礼に行きました。その後、隠れキリストンがこの町でそろめんを食べ、



以前私は亡くなつた歌手の越路吹雪さんに日記を見せてもらつたことがあります。この中に「六十にならなければ歌えない歌があるはずだ。七十にならなければその詞の心が分からぬシャンソンがあるはずだ。私は六十、七十まで歌い続けよう」と書いてありました。亡くなつてから、イベント次郎からの盗作と聞いて驚きましたが、しかし、実際に六十にならなければその心が分からぬ歌があり、七十にならなければ詩人の魂が分からぬ歌です。

そういうエイジング、年を取らなければ分からぬ判断、価値観、経験、物事の処し方、頭、ハートの中にもそういう情報が埋め込まれています。それを生かして使ってみたら……。スーパーで手軽に食品を買ってきて、オーブンで焼いて食べるより、もっと手軽で、もっとおいしくて、栄養のあるものが食べられるはずです。

もうひとつエイジレス。例えばエレベーター、エスカレーター、これは年の差は無いでしょう。八十歳のおばあちゃんと十五歳の少年が一緒にエレベーターに乗ると、同じ階に着きます。エスカレーターもそうです。老眼鏡、補聴器、これらはみんなエイジレスです。まだまだたくさんあります。社会から年を取ったハンディキャップを消してしまいうのです。新潟、長岡のホテルのバスタブの高さはみんな青壯年用の高さです。高過ぎる。セキシハウスが今三世代同居で55センチの低いバスタブを使うようになりました。台所のキッチンも大量生産で、全部高さが74センチと決まっています。人間は年をとると体が縮むんですよ。ことに女の人はおばあちゃんになると体が縮みます。せめて3センチか4センチ、キッチンの高さを低くすればものすごく



「うまい」という評判がたち、町立のそらめん工場を建てました。今、そのそらめんは、だいたい名古屋までの西日本で飛ぶように売っています。

まちおこしというのは、その町の人の所得を上げようということではありません。外海町の人たちは、自分たちのドロさんに対する感謝の「思い」をなんとか表現したいというのがまちづくりの真ん中にあったのです。それが行政がバックアップして、この人たちをどうしたらフランスと結び付けたらいかを考えたんです。外海町の人たちは所得は決して高くはありませんが、「幸福度」はとても高い、なぜなら「心の支え」があります。

「外海町の町民である」という支えです。

「あまねく人らしく」の実現には、四つの「ち」を払拭する必要があります。それは、「三島町のような雪の深いところにいるんだもんなあ」という愚痴。まずこれを払拭しないとダメです。それから「けち」。これはお金が出さないという意味ではなく、まちづくりと一緒にになって労力を提供しない、アイデアも出さない、「だれか好きな人がやつててんじゃないの」という人が多くなつたら、どんなに役所が優秀でもダメなんです。それから「無知」。現代の無知はいい情報と情報じゃない情報、ノイズ（騒音）の区別がつかない人をいいます。「隣の町がこうなつてている」「よその町ではこうだ」自分の町に必要か、自分の町でできるのか、それをやってどういう結果がでたのか、そういう検証もしないで、「隣の花は赤い」「隣の芝生は緑」と思ってし

まちづくりには住民が「愚痴」「けち」「無知」「やきもち」の四つの「ち」をできるだけ押さえていかなければなりません。そうでないと、役所をうまく使い回すことができません。役所が持っている「人」「金」「情報」を充分に生かすには、周りの住民がそれをしっかりと押さえていかなければなりません。

3 高齢者のもつている情報を生かし、年を取ることのハンディキャップをなくす

「人らしく」で先程延べた老人介護の問題でも、介護、介護とばかりいってもはじまりません。実は高齢問題でもAGING（エイジング）、加齢する、年を取るとということと、AGELESS（エイジレス）、年を取りたハンディキャップをいかに無くすか、という2つのテーマがあります。いつまでも青年、壮年の社会に老年も一緒に働いてもらうにはどうしたらいか、老、壮、青、三世代が肩を組んで働いている社会が一番生き生きとした社会なのです。老人を排除した社会は、大変索漠たる社会なんです。いかに年を取ったというハンディキャップを消していくか、そのためどんな制度があるか、どんなシステムがあるか、どんな商品開発があるか、これを考えることが加齢とともに大切です。

い歌もあるのではないか。それがエイジング、加齢です。以前「酒は涙か溜め息か」を小林幸子と都はるみがテレビで歌っていましたが、別の歌かと思いました。つまり歌の心が分かっていない、古賀メロディーが分かっていないのです。

かからない判断、価値観、経験、物事の処し方、物の作り方があるんです。三島町の高齢者の頭、ハートの中にもそういう情報が埋め込まれています。それを生かして使ってみたら……。スーパーで手軽に食品を買ってきて、オーブンで焼いて食べるより、もっと手軽で、もっとおいしくて、栄養のあるものが食べられるはずです。

もうひとつエイジレス。例えばエレベーター、エスカレーター、これは年の差は無いでしょう。八十歳のおばあちゃんと十五歳の少年が一緒にエレベーターに乗ると、同じ階に着きます。エスカレーターもそうです。老眼鏡、補聴器、これらはみんなエイジレスです。まだまだたくさんあります。社会から年を取ったハンディキャップを消してしまいうのです。新潟、長岡のホテルのバスタブの高さはみんな青壯年用の高さです。高過ぎる。セキシハウスが今三世代同居で55センチの低いバスタブを使うようになりました。台所のキッチンも大量生産で、全部高さが74センチと決まっています。人間は年をとると体が縮むんですよ。ことに女の人はおばあちゃんになると体が縮みます。せめて3センチか4センチ、キッチンの高さを低くすればものすごく

く楽になります。新潟は日本座敷が多い。ということは、敷居が多いということです。あの敷居というのは老人にはつらいもので、敷居につまずいて転んで足を折る、これがボケの始まりという老人が実に多い。ボケ老人の何割りかは、敷居につまずいているんです。伊藤豊さんという建築の先生がいまして、自分が奥さんのおとうさん、おかあさん、4人が健在で一緒に暮らしています。おばあちゃんは車いすで生活するようになりました。それで、自分は建築家のになんて老人にむごい家を造つてしまつたんだろうと気づき、家を建て替え、家の敷居を全部取り払いました。全部平らな座敷にしました。座敷も廊下も全部同じ高さになりました。そしたらおばあちゃんは、どこにも行けます。電話がかかってきたも受話器取るのが早いんですよ、車いすですから。結果、とうとう車いすから降りたんです、気持ちが立つたんです。「私は行ける」と。家族の一員だ、人の世話にならなくとも行けるんだと、車いすがいらなくなりました。人間の心とは偉いものです。そういうこと、つまり家の中に敷居を取り払うこともエイジレスです。

エイジレスということを考えると、老人は何を思っているだろう。それを考えたらいろいろなものができます。いま老人のために作ったものなら買いたい。そういう購買力、六十五歳以上の購買力は十六兆円あります。それで不景気といっているんです。高齢社会が始まると同じものを作っているから売れない、だから不景気なんです。

4

心が癒され、いつも穏やかに暮らせる生活空間の創造



■講演「21世紀のまちづくり」

草柳大蔵●くさやなぎ・だいぞう
東大卒業後、雑誌編集者・ラジオ脚本家・サンケイ新聞経済部記者・大宅社一氏秘書を経験後独立し、フリーランサーとなる。現在、放送番組向上協議会副委員長、広島県立大学客員教授(社会学)、日本放送協会経営委員会委員。
昨年まで20年間、約1000回にわたりテレビ番組「サンデートーク」の司会を努める。静岡県熱海市在住、71歳。

もうひとつ、アメリカで始まっているのが「THE AGE OF HEAL」(ジ・エイジ・オブ・ヒール)、心が癒されている人と、相手の気持ちが分かるだけのやわらかい人間、ゆたかな人格、やわらかいセンスを持ちたい、そのための「癒し」というのがいかに大切か、アメリカでも、まちおこしが盛んで、その中に「ヒール」(癒す)というのが出てきているんです。

阪神大震災のあと、神戸大学医学部の精神医学の先生で、酒井正男先生という方がおりまして、この方が「一九九五年一月神戸」と文集を作りました。この中で神戸の人はこのごろ涙っぽくなつたとタクシーの運転手が言つてあります。お客様が家族、知人、友人が亡くなつたところまでくると、ふつと涙をぬぐつてはいるといいます。その場所を窓ごしにじつと見ているといいます。みんなそれぞれいかにその町に思いを持っていたか、よく分かります。しかし、その涙ぐむというのがやがて癒されるといいます。なにが癒してくれたかというと、六甲山の姿、山の稜線です。それと神戸の青い海、海の青さと山の姿、これが一番人の心を癒した、つまり「景観」というものがそんなに人の心に大切なものだとは思わなかつた。今まで、経済成長を考え、自然に対して便益性を求めて自然を変えてし

たたお年寄りがすいすい歩いたり、いろいろな知識を恥ずかしがらずに教えてくれるだらうか。それで、なるべく一緒に働いてもらいたい。これからだんだん若い人が少なくなります。いま定年は六十歳になつてますが、六十五歳まで働いてもらわないと労働力が追いつかなくなります。何とかして、年を感じさせないでやつもらいたい。それとヒール(癒す)とは何だろう。それと人の話がよく聞けるか、情報かノイズ(騒音)かを聞き分けられるか、自分がノイズを必要としない人間でなければなりません。どんなおいしい話を聞くよりも動かないだけの価値観ができるないと。それにはいつでも気持ちが穏やかに、癒されている日常生活が必要ではないでしょうか。それで初めて老人介護、お年寄りの喜ぶ町といえるでしよう。

目に見えないものを何か装置に変えたり、建物に変えたり、あるいはシステム、約束ごとに変えたり、そういうものに知恵とお金を使ふ、しかし、知恵とお金と人を使う、これは役所が専門なんです。そういう時代に流れていると思うのです。

二十一世紀を間近に迎え、地方自治の中で何が起るかということを、歴史の流れの中でとらえてみると、以上のようなものではないかと思います。

(平成7年11月4日、三島町体育館にて収録)

5

「定量」から「定性」の時代へ。
目に見えないものに知恵を
使う

①児童生徒の通学路となつてお
り、道路幅員も狭く危険なため
する。
②脇野町から吉崎、上岩井に貫
ける旧県道につきまして、次の
理由により、なるべく路上駐車
しないようご協力をお願ひしま
す。

旧道(脇野町ー上岩井間)
路上駐車にご注意ください
務課(内線312)へ。

脇野町から吉崎、上岩井に貫
ける旧県道につきまして、次の
理由により、なるべく路上駐車
しないようご協力をお願ひしま
す。

戸籍謄抄本等交付手数料表

申請内容	手数料額
戸籍の謄抄本又は記録事項証明書	1通 450円
除籍の謄抄本又は記録事項証明書	1通 750円
戸籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件 350円
除籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件 450円
届出・申請の受理申請書又は届書その他の書類の記載事項の証明書	1通 350円
上質紙を用いた受理証明書(婚姻・離婚・養子縁組又は認知の届出)	1通 1,400円
届出その他の書類の閲覧	書類1件 350円

▼日 時 平成8年1月3日 正午から

▼場 所 野崎家

▼会 費 2,000円

▼申込期限 12月22日(金)

◎申し込み、問い合わせは、総務課(内線312)へ。

旧道(脇野町ー上岩井間)の路上駐車にご注意ください

脇野町から吉崎、上岩井に貫

ける旧県道につきまして、次の

理由により、なるべく路上駐車

しないようご協力をお願ひしま

す。

②県道与板関原線街路事業の工事が始まり、交通量が増加する見込みのため

③元北越銀行付近から中学校校門付近まで消雪パイプ補修工事が実施されるため

国民年金の加入手続きをしましよう

日本国内に住所のある20歳以上、60歳未満のすべての方は国民年金に加入することになつています。

◎第一号被保険者

農業や漁業などの自営業の方

無職の方や学生の方が該当しま

す。

役場福祉課に加入届を提出し

ます。

国民年金保険料を納めること

になります。

納めて受けよう国民年金

申請、問い合わせは 福祉課へ

申込期限 平成8年1月1日から、戸籍

の謄抄本等の交付手数料が、左

表のとおり改定されます。

納めて受けよう国民年金

申請、問い合わせは 福祉課へ

申込期限 平成8年1月1日から、戸籍

住みやすい環境を目指します

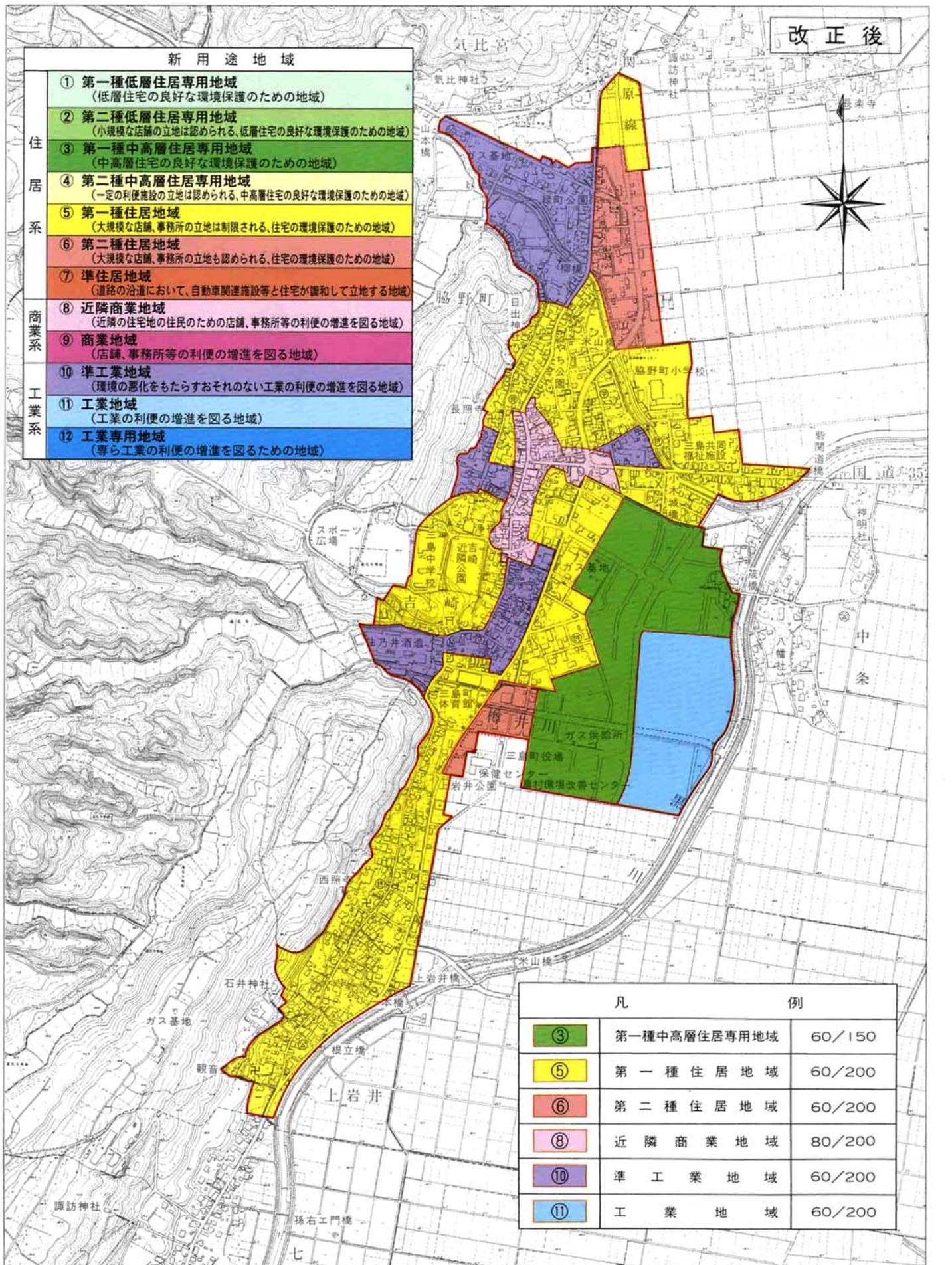
住みやすい環境を目指します

用途地域制度は良好な市街地環境の形成や、都市における住居、商業、工業などの適正な配置による機能的な都市活動の確保を目的として、建築物の用途、容積率、建ぺい率、高さなどを規制・誘導する都市計画・建築規制制度であり、秩序あるまちづくりに大きな役割を果たしてきました。

この用途地域制度について、平成4年の都市計画法及び建築基準法の改正（平成5年6月25日施行）により、用途地域の種類が8種類から12種類になりました。（左頁表参照）また同時に、各用途地域において建築することができる建築物の用途についても見直しが行われました。
（下表参照）

三島町では、平成8年3月末に用途地域変更の都市計画の告示を行う見込みで、これにより今までの用途地域の効力が失われ、新しい用途地域が適用されることになります。

(注) 本表は、改正後の建築基準法別表第二の概要であり、すべての制限について掲載したものではありません。



用途地域の見直しについてのお問い合わせ、詳しい内容をお知りになりたい方は
役場建設課まで。

とつておきの一枚



写真提供：尾竹金司さん（吉崎）

自作自演の演劇「赤い星」が全国最優秀賞を受賞

昭和31年10月14日、全国青年大会芸能文化の部で、新潟県代表として出場した「三島町演劇研究会」が最優秀賞に輝きました。

三島町演劇研究会が演じた創作劇「赤い星」は農地改革で自作農になった農民が生活にゆとりを持ち始めると、かつての地主的生活を夢見て、虚飾におぼれるおかしさを風刺した農村劇。そのテーマの新鮮さが高く評価されました。

三島町演劇研究会は当時盛んだった青年団の文芸活動の一環として、昭和24年に発足、鋸製造工場や商店で働く青年、農業に従事する青年ら18名で構成されていました。発足以来赤字公演の後始末に困り解散しかけたこともありましたが、芝居に打ち込む若い情熱と、町民の理解、援助で練習を続けていました。

「若さは、朝のベットの温かさに似ている。もう少し、もう少しと思っていると、あとでうまい年を取る」という一文を思い出しました。
▼一連の40周年記念事業が終わったと思ったら、早いものでまた歩く。年齢を重ねるごとにだんだんと一年のサイクルが早く感じるようにになります。めっきり寒くなるこの時期、起きるのもつらい。あるエッセイの方は企画調整課へお問い合わせください。



編集後記

▼三島町合併40周年を記念した町勢要覧が完成。40年の歩み（年表）、町民憲章とともに、各戸配付を行いました。現在進められている町づくりや町の歴史、まつりなどのイベントを紹介した町勢要覧の表紙をめくると、夕焼けに染まる西山連峰に向かって、なにやら怪しげな未確認飛行物体が……。これは長岡造形大学の学生さんが作った模型を夕焼けの風景写真にはめ込んだ合成写真。美しい自然に囲まれつつ、明るい笑顔と躍動感あふれる明日を迎えるとする三島町をイメージして歩みは在庫まだありますので、希望される方は企画調整課へお問い合わせください。

広報カレンダー

11/23 木	勤労感謝の日
24 金	女性セミナー（昼の部）13:30 交流センター （夜の部）19:30
25 土	
26 日	
27 月	
28 火	ふるさと講座 19:30 交流センター 心配ごと相談 13:30～16:00 役場相談室
29 水	
30 木	
12/1 金	
2 土	
3 日	
4 月	
5 火	心配ごと相談 13:30～16:00 役場相談室
6 水	
7 木	リハビリ 13:00～ みしま園 女性セミナー（昼の部）13:30 交流センター
8 金	ふるさと講座 19:30 交流センター 講演と相談会「痴呆について」13:30～ 交流センター
9 土	
10 日	町民混合バレー大会 8:00 北銀体育館外
11 月	
12 火	高齢者リハビリ 9:00～ 保健センター 心配ごと相談 13:30～16:00 役場相談室
13 水	
14 木	リハビリ 13:00～ みしま園
15 金	女性セミナー（昼の部）13:30 交流センター ふるさと講座 19:30 交流センター
16 土	
17 日	
18 月	
19 火	心配ごと相談 13:30～16:00 役場相談室
20 水	
21 木	リハビリ 13:00～ みしま園

歯の用心

一口MEMO ④

入れ歯の保管

入れ歯は常に清潔にし、食事が終わったら必ず洗ってください。特に、歯ぐきに接する入れ歯の内側は、どうしても食べカスがついたりするものです。そのままにしておくと、細菌が繁殖して歯ぐきを刺激し、軟らかい組織にカンジダ症等の病気を引き起こすこともあります。また、入れ歯の材質内部に汚れが付着して異臭がしたり、変色したりします。

食事の後、常に大量の食べカスが入るようでしたら、入れ歯が合わなくなってきたこともありますので、歯科医院で診断を受けた方がよいでしょう。また、寝る時は原則的に入れ歯をはずして、歯ぐきを休ませた方がよいでしょう。はずした入れ歯は、カップ等に水を入れてつけておくことを忘れないように。

お口のにおい

最近、お口のにおいが気になる方のために、いろいろな口臭除去剤が発売されていますが、それは一時的なにおい止めですので、何が原因でお口のにおいがするのか、かかりつけの歯科医院で診てもらうとよいでしょう。意外な原因が見つかることがあります。

口の中の原因でにおいがする場合、考えられる原因を次にあげてみましょう。

まず、むし歯が見つかることがあります。次に歯周病が原因でお口がにおう場合もたくさんあります。また、舌の表面に舌苔といわれるものが付着して、においを出す場合もあります。ただし、お口の中に原因がない場合もありますので、いずれにしても、歯科医院で診てもらうのが一番安心できるでしょう。

三島町健康な歯づくり推進委員会

保健行事の おしらせ



対象	内容	日時	会場
H 5.9～5.12 月出生児	2才児歯科健診	12月13日(水)受付 13:30～13:45	保健センター
H 6.11 月出生児	お誕生歯科健診	12月13日(水)受付 13:15～13:30	
H 5.8～6.5 月出生児	三種混合 I期初回③	12月6日(水)受付 13:45～14:30	
H 6.6～7.3 月出生児	I期初回②	11月28日(火)受付 13:45～14:30	
H 6.6～7.3 月出生児	I期初回③	12月19日(火)受付 13:45～14:30	